

2018年7月2日

各 位

不動産投資信託証券発行者名
東京都千代田区丸の内二丁目7番3号
東京ビルディング21階
日本プロロジスリート投資法人
代表者名 執行役員 坂下雅弘
(コード番号: 3283)

資産運用会社名
プロロジス・リート・マネジメント株式会社
代表者名 代表取締役社長 坂下雅弘
問合せ先 取締役財務企画部長 戸田 淳
TEL. 03-6867-8585

第19回物流環境大賞「物流環境啓蒙賞」の受賞のお知らせ

日本プロロジスリート投資法人（以下「本投資法人」といいます。）は、一般社団法人日本物流団体連合会（以下、「日本物流団体連合会」といいます。）が主催する第19回物流環境大賞において、本投資法人のスポンサーであるプロロジスとともに「物流環境啓蒙賞」を受賞しましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 受賞の内容

プロロジス・グループは全世界において「環境への取り組み (Environmental Stewardship)」、「社会貢献と企業としての責任 (Social Responsibility)」、「企業倫理とガバナンス (Ethics and Governance)」（以下、これらを総称して「ESG」といいます。）を3本の柱として、持続可能性に配慮した企業活動を行っております。「環境への取り組み」においては全世界で環境に配慮したサステイナブルな施設を積極的に開発しており、特に日本では施設を開発する地域の環境や災害特性を考慮した、日本独自の最新の環境負荷低減施策導入を進めております。今回は、スポンサーであるプロロジスによる物流施設の新規開発や本投資法人が保有する物流施設のリニューアル時におけるさまざまな環境負荷低減の取り組みが評価され、第19回物流環境大賞において「物流環境啓蒙賞」の受賞に至ったものです。

<日本物流団体連合会講評コメント>

プロロジスと日本プロロジスリート投資法人は、物流施設の新規開発および施設リニューアルの際に、自然エネルギーの活用や省エネルギー化、また建物の長寿命化等により、環境負荷を低減させる取り組みを行っている。

これらのさまざまな取り組みにより、建築物環境総合性能評価システム (CASBEE) や建築物省エネルギー性能評価・表示制度 (BELS) の認証を積極的に取得。また、多くの入居企業の輸送にかかるCO2の削減に貢献している。常に最先端の環境施策を導入し、最新の環境配慮型物流施設を構築していくことで、入居企業のみならず、一般にも広く環境配慮の重要性を喚起し、物流施設における環境対策を一層推進している。

2. 本投資法人の今後の取り組み

プロロジス及び本投資法人は、良き企業市民となれるよう、真摯にESGに取り組み、社会のサステナビリティに最大限に配慮した企業活動を行っています。今後もプロロジス・グループの企業活動が環境に与える負荷を最小限に抑えられるようにするとともに、プロロジス・グループのあらゆるステイクホルダーの皆様へ最大限の有益な結果をもたらすことができるよう努力してまいります。

以上

※一般社団法人日本物流団体連合会の本件プレスリリース

「第19回物流環境大賞の受賞者を決定」：<https://www.butsuryu.or.jp/asset/41307/view>

※プロロジスの本件プレスリリース：<https://www.prologis.co.jp/press-releases/180702>

※本投資法人のウェブサイトアドレス：<http://www.prologis-reit.co.jp>